

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	資料収集保存事業				シート番号	008-060
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年の開館以来、堺市に関連する資料の散逸と滅失を防ぐため、収集と適切な保存管理及び修理業務を行うため実施している。平成23年度に、それまでの資料保存普及事業から保存事業を独立させて資料収集事業とともに再構成した事業である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	博物館入館者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺の歴史と文化を代表する資料の散逸を防ぎ、市民の文化的共有財産である博物館資料を未来への遺産として後世に伝えるために適切な処置を行う事業である。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市に関する資料の調査を行い、購入・寄贈等により資料を収蔵する。また、収蔵した資料は適切な文化財空調のもとで保存できるようにし、必要に応じて修理する。また、修理した資料は研究し展示等で公開し活用していく。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

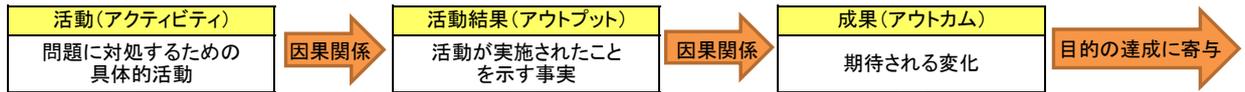
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	10,482	8,003	30,703	10,659	6,179	5,723	11,499	
	主な事業費内訳	評価者謝礼金	千円	92	138	138	59	138	0	238
		委託料	千円	3,847	2,376	2,200	2,052	2,300	2,284	9,600
		修繕料	千円	2,400	2,193	4,000	3,869	1,200	1,200	900
		資料購入	千円	4,100	3,259	24,324	4,632			
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円		205		112	0	0	
		市債	千円							
		その他(基金繰入金・物品売払収入)	千円	5,900	4,176	29,118	8,809	3,700	3,398	7,900
		一般財源	千円	4,582	3,622	1,585	1,738	2,479	2,325	3,599
	12	人件費 (b)	千円	14,760	14,760	14,760	14,760	11,340	14,580	14,760
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	25,242	22,763	45,463	25,419	17,519	20,303	26,259	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	資料収集保存事業	シート番号	008-060
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	令和元年度業務					
		○ 収蔵庫耐震化工事 重要文化財「大阪府陶器窯跡軍出土品」収納棚の耐震化工事					
		○ 資料燻蒸業務					
		○ 館蔵資料修理業務 堺市指定文化財「元禄菱垣廻船模型」修理					
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	修理資料を用いた展覧会の実施	回	目標値 2	2	1	1
				実績値 2	2	1	
				達成率 100%	100%	100%	
				評価 良い	良い	良い	
		算出方法・設定根拠など	修理した資料の利活用				
			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16			目標値			
				実績値			
				達成率			
				評価			

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	修理資料を用いた展覧会の実施	回	2	2	1
	②	上記①にかかる年間経費	千円	16,953	18,540	15,891
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,476,500	9,270,000	15,891,000
	備考(算出についての説明等)		資料修理経費+人件費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<ul style="list-style-type: none"> ・資料燻蒸業務では事故なく無事に計画通り終了した。 ・収蔵庫耐震化工事、資料修理業務も事故なく無事に計画通り終了した。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	資料収集保存事業	シート番号	008-060
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 堺市民の財産である貴重な文化財等を適切に保存・管理する博物館として、必須の業務に支障をきたす。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 堺市の財産である博物館資料が破損する恐れが出る。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 資料購入業務については、一定期間の休止を考慮することができる。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 事業の性格上、市民への直接的な影響は少ない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 資料の管理面において、データベースの構築とその運用により、より適切な資料管理が行える。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	博物館が所蔵する館蔵資料を適切に保存・管理するとともに、当該資料のデータベース化を進め、デジタルアーカイブを作成しネット上で公開するなど、更なる資料の利活用を進める。	